

中学生記者が取材しました!

北区の藍染文化伝承活動

あ **藍** があるから 頑張れる!!



(左から)安田クリスティーナさん、森川結華さん、小林泰子さん、松田佳那子さん、長田 将君、畑原理子さん

北区は、心豊かな生活をゆったり送る運動「北区スローライフ宣言」の柱の一つである「歴史と文化」のまちづくり活動として、篠路天然藍染振興会と共に、北区の伝統文化「藍染め」の伝承活動に取り組んでいます。今月は、公募による中学生広報記者の6人が、その活動取材しました。

スローライフなまちづくりの提案
北区 **スローライフ宣言**
「歴史と文化」「花と環境」
「食と地産地消」「健康と元気」

詳細 地域振興課地域活動担当係 ☎757-2400 内線412



藍が死なないように空気に触れさせてあげることも毎日の作業の一つ

私達は、さつそく藍工房で藍建て(藍染め液作り)を取材しました。北区の藍染めは、昔ながらの伝統的な方法で行われているの

伝統的技法にこだわ

が特徴です。市販されている化学染料を使わず、藍染め液から手作りしています。環境にやさしい、味わいが生まれるなどの理由のほかに、北区の藍の歴史を受け継がなければならぬという思いがあるからです。もちろん、手作りに苦勞もあります。毎日毎日、温度やアルカリ度数を測り、ノートに記録して、管理をしっかりとしなければなりません。会員の川原田美知子さんは「まるでわが子を育てるような気持ち」と話していました。

篠路天然藍染振興会とは

篠路天然藍染振興会(椎野栄子会長)は、藍染め講座の修了生や、地域のサークルを中心に「篠路天然藍染」の普及と発展、また北区の「藍染文化伝承事業」への協力を目的として平成6年に設立されました。設立直後から、地域の祭りや北区民俗文化祭などでの体験藍染め、作品展示などを行っています。普段の活動の拠点は、北区民センターの裏にある「藍工房」です。ここで藍染め液を管理したり、藍染め作品の制作に取り組んでいます。



藍染めのことをいろいろと教えてくれた椎野会長(左端)



明治40年ころの藍の移植作業(円内は滝本五郎)

「北区の藍の歴史」
北区の藍の歴史は、徳島県で盛んに栽培されていた藍が、滝本五郎により篠路に持ち込まれ、始まりました。滝本により設立された「篠路興産社」の藍は、品質の良さと評判を呼び、成功を収めました。しかし、インドなどから安い藍が輸入されたり、化学染料が広まったりしたことにより、姿を消してしまつたのです。その歴史の名残は「あいの里」という地名や「興産社町内会」の名称に見ることが出来ます。